



2006年度中間決算

2006年11月10日

住友商事株式会社

取締役社長 岡 素之

本日のトピックス

1. 中間決算総括

純利益1,021億円(前年同期比16%増、上半期過去最高益)

2. 通期業績見通し

純利益を1,900億円に上方修正(期初予想1,700億円)

3. 配当

中間配当1株当たり15円へ増配(前期中間配当:11円)

4. AG Plan

収益基盤拡大の進捗状況、持続的な成長を目指して

将来情報に関するご注意

本資料には、当社の中期経営計画等についての様々な経営目標及びその他の将来予測が開示されています。これらは、当社の経営陣が中期経営計画を成功裡に実践することにより達成することを目指していく目標であります。これらの経営目標及びその他の将来予測は、将来の事象についての現時点における仮定及び予想並びに当社が現時点で入手している情報に基づいているため、今後の四囲の状況等により変化を余儀なくされるものであり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。したがって、これらの情報に全面的に依拠されることは控えられ、また、当社がこれらの情報を逐次改訂する義務を負うものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

1.中間決算総括

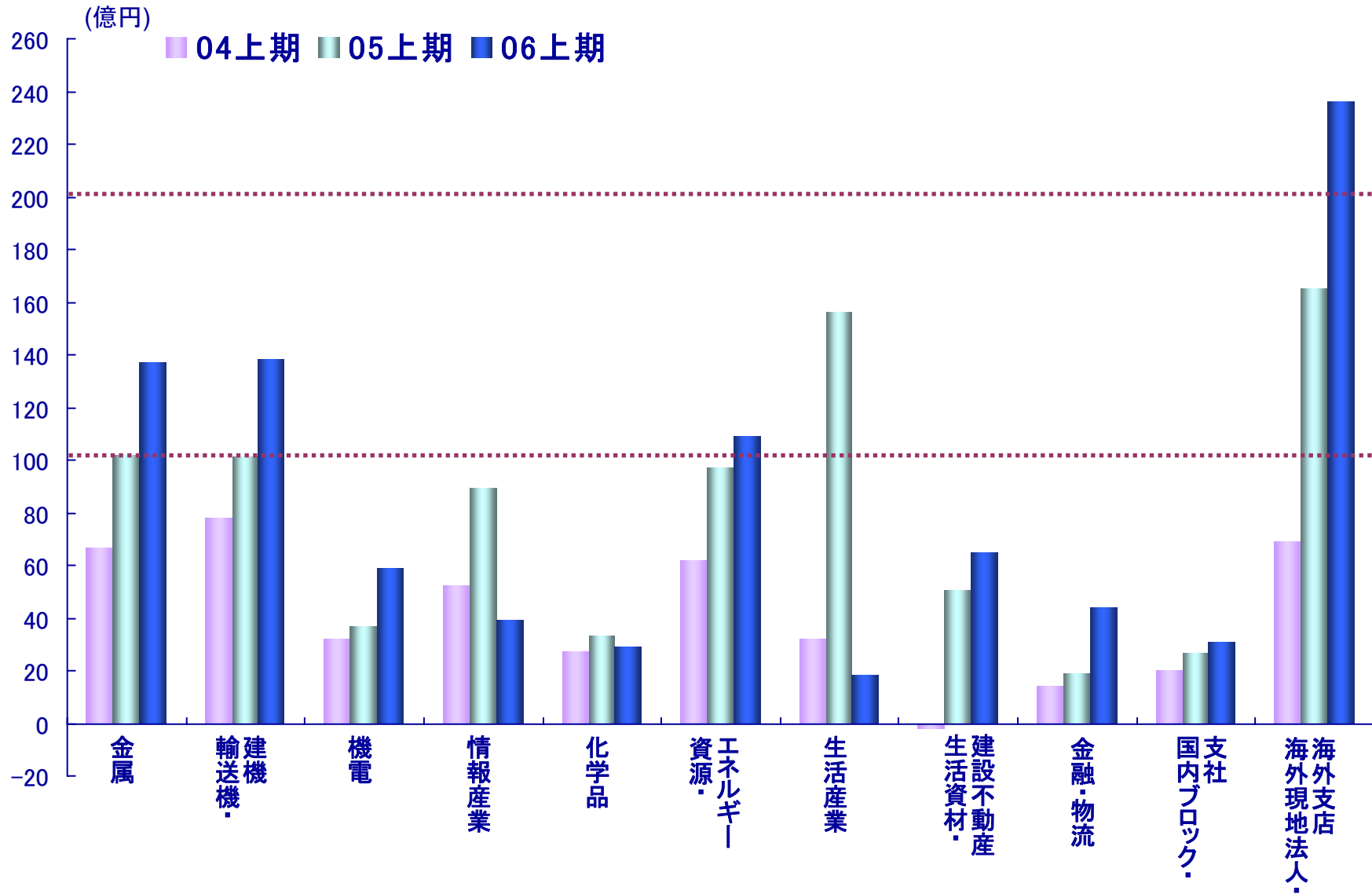
純利益・基礎収益の推移



基礎収益 = (売上総利益 - 販管費 - 利息収支 + 受取配当金) × 59% + 持分法損益

1.中間決算総括

セグメント別純利益



1.中間決算総括 財政状態

	06/3末	06/9末	
総資産	6兆7,119億円	6兆9,996億円	総資産：+約2,900億円 ・戦略的投融資等(+約1,400億円) ・住商リースTOB資金(+約2,000億円)
株主資本	1兆3,040億円	1兆3,636億円	
有利子負債(Net)	2兆6,222億円	2兆6,655億円	株主資本：+約600億円 ・純利益の積み上げ(+約860億円) ・株式の含み益減少(▲約250億円)
株主資本比率	19.4%	19.5%	
DER(Net)	2.0倍	2.0倍	

2.通期業績見通し 通期業績見通し上方修正

順調な収益基盤拡大

金属、輸送機・建機、海外セグメントを中心に増益を見込む

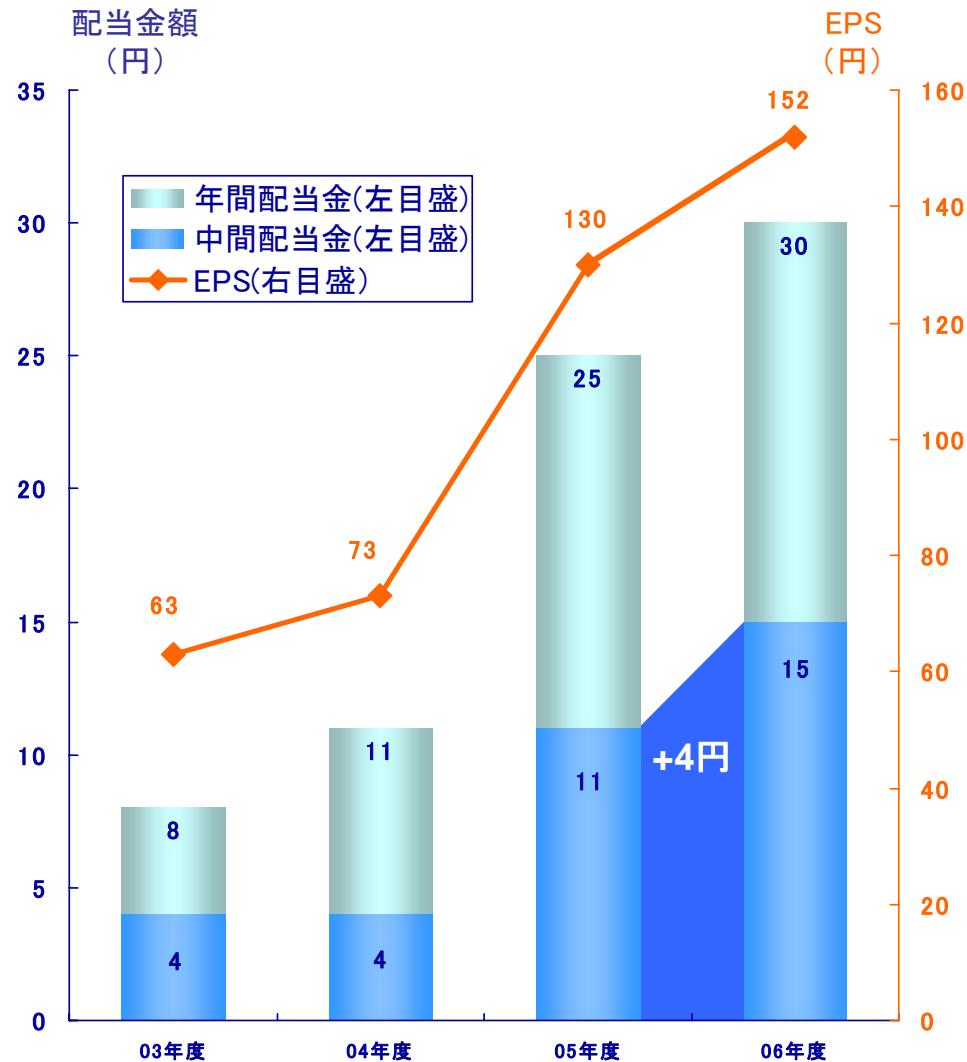
(億円)	期初予想		見通し
純利益	1,700	+200	1,900
基礎収益	1,824	+166	1,990
売上総利益	8,500	+100	8,600
営業利益	2,300	+100	2,400
持分法損益	550	+130	680

基礎収益 = (売上総利益 - 販管費 - 利息収支 + 受取配当金) × 59% + 持分法損益

2.通期業績見通し 主要経営指標の見通し

	06/3末	07/3末見通し	
総資産	6兆7,119億円	8兆7,000億円	総資産：+約2兆円 約6.7兆円(06/3末) + 約0.6兆円(戦略的投融資等) + <u>約1.4兆円(住商リース子会社化)</u> 約8.7兆円(07/3末)
株主資本	1兆3,040億円	1兆4,350億円	
株主資本比率	19.4%	16.5%程度	
有利子負債(Net)	2兆6,222億円	3兆450億円	
DER(Net)	2.0倍	2.1倍程度	<除く住商リース子会社化の影響> ・総資産 : 約7.3兆円 ・株主資本比率 : 19.7%程度 ・ROA : 2.7%程度
ROE	14.3%	13.9%程度	
ROA	2.6%	2.5%程度	

3.配当 中間配当



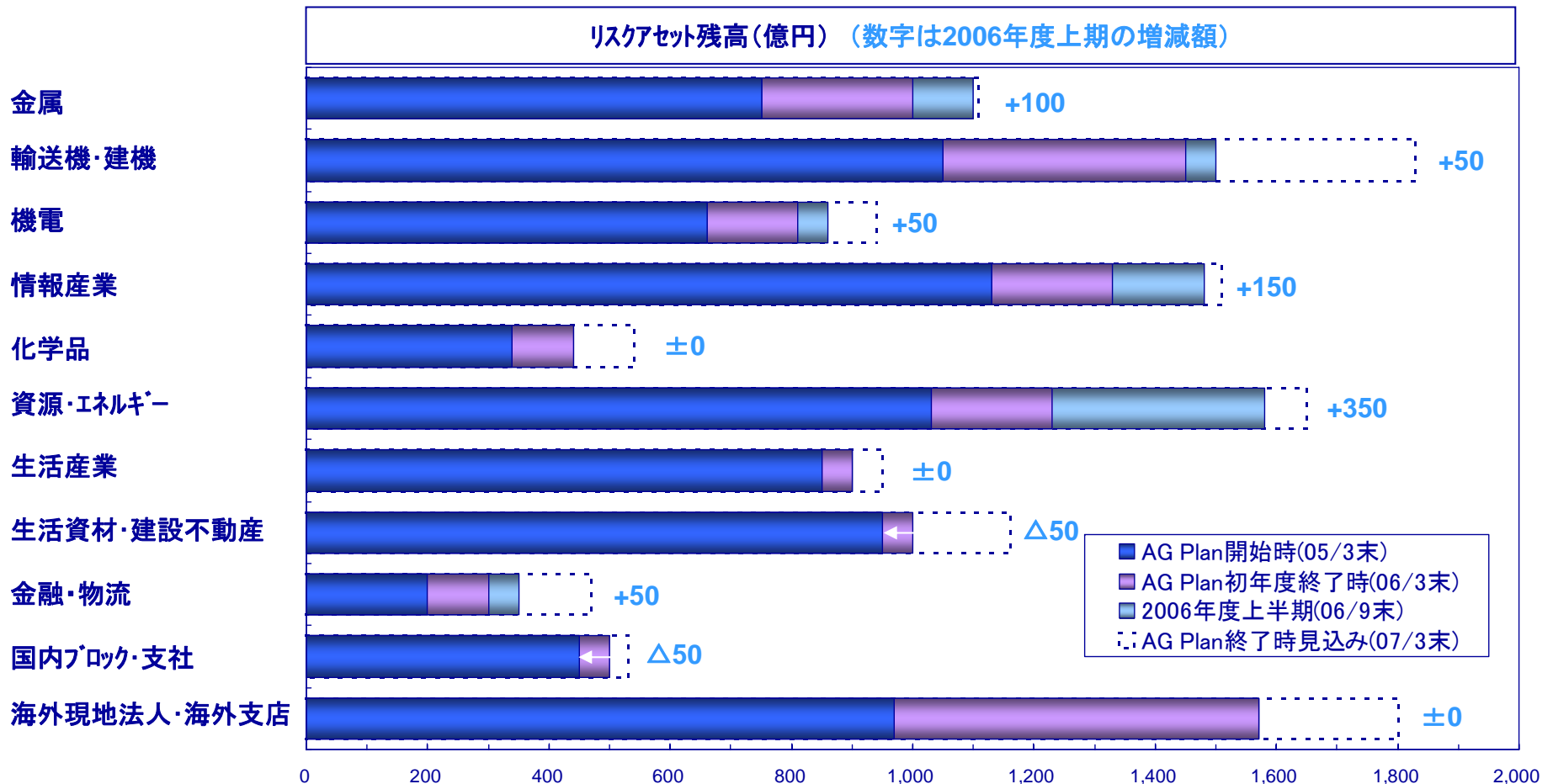
配当方針：
配当性向20%を目処

見直し後：純利益1,900億円
年間配当金30円
(中間15円・期末15円)

4.AG Plan

リスクアセット積み増し状況

2006年度上半期：約600億円積み増し



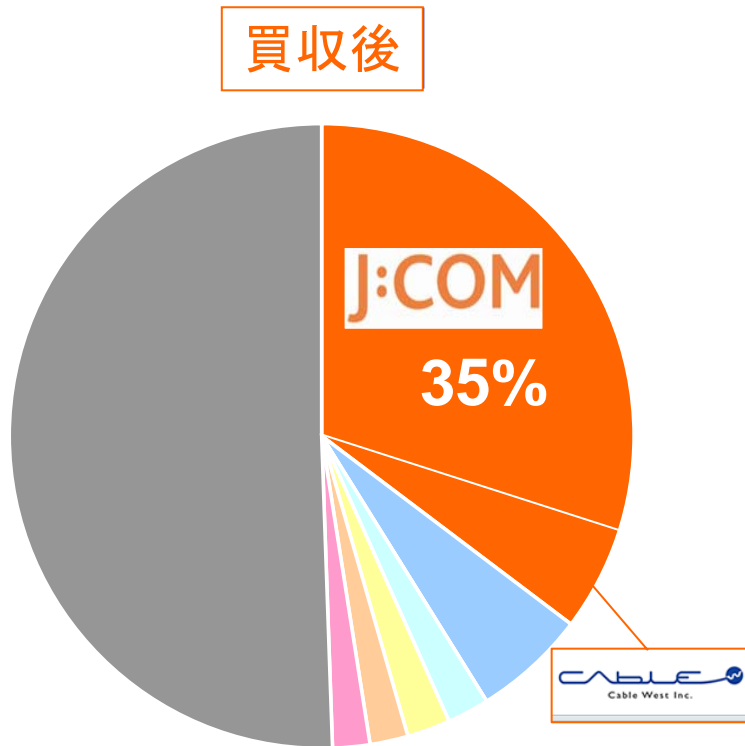
4.AG Plan

ケーブルテレビ事業基盤拡大

情報産業：業界No.1戦略

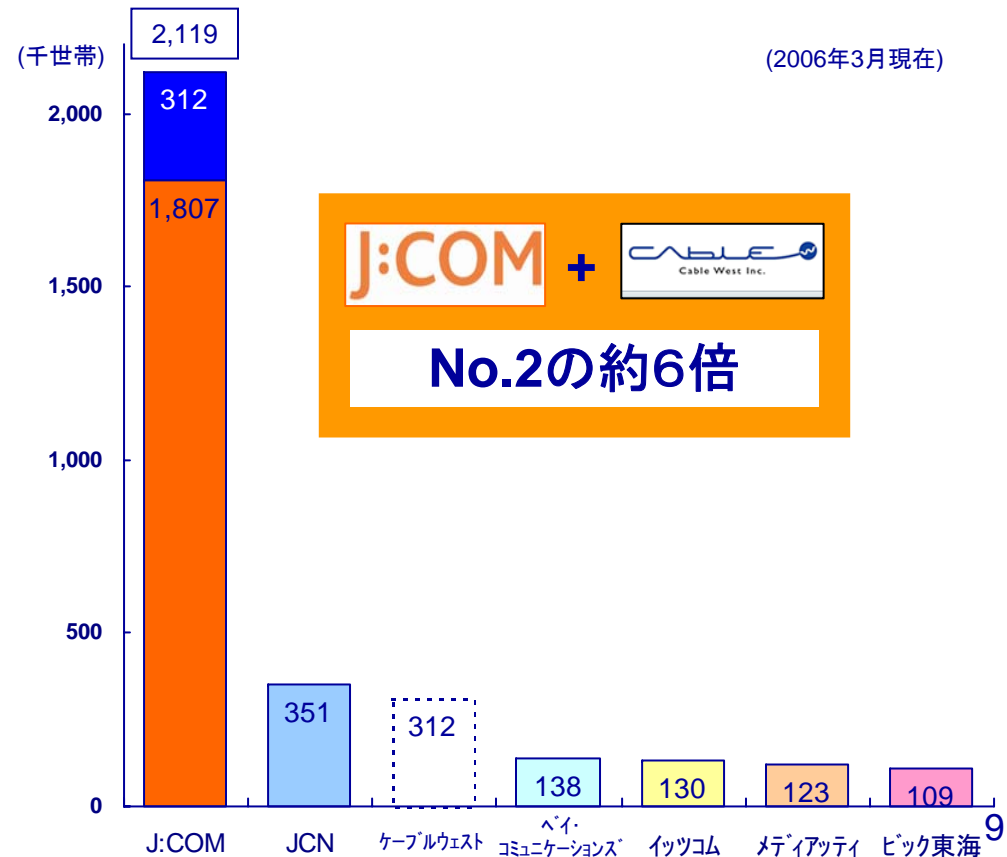
J:COMケーブルウェスト買収：No.1の地位をより強固に

<日本の有料CATV市場シェア>



出所：「放送ジャーナル」2006年7月号

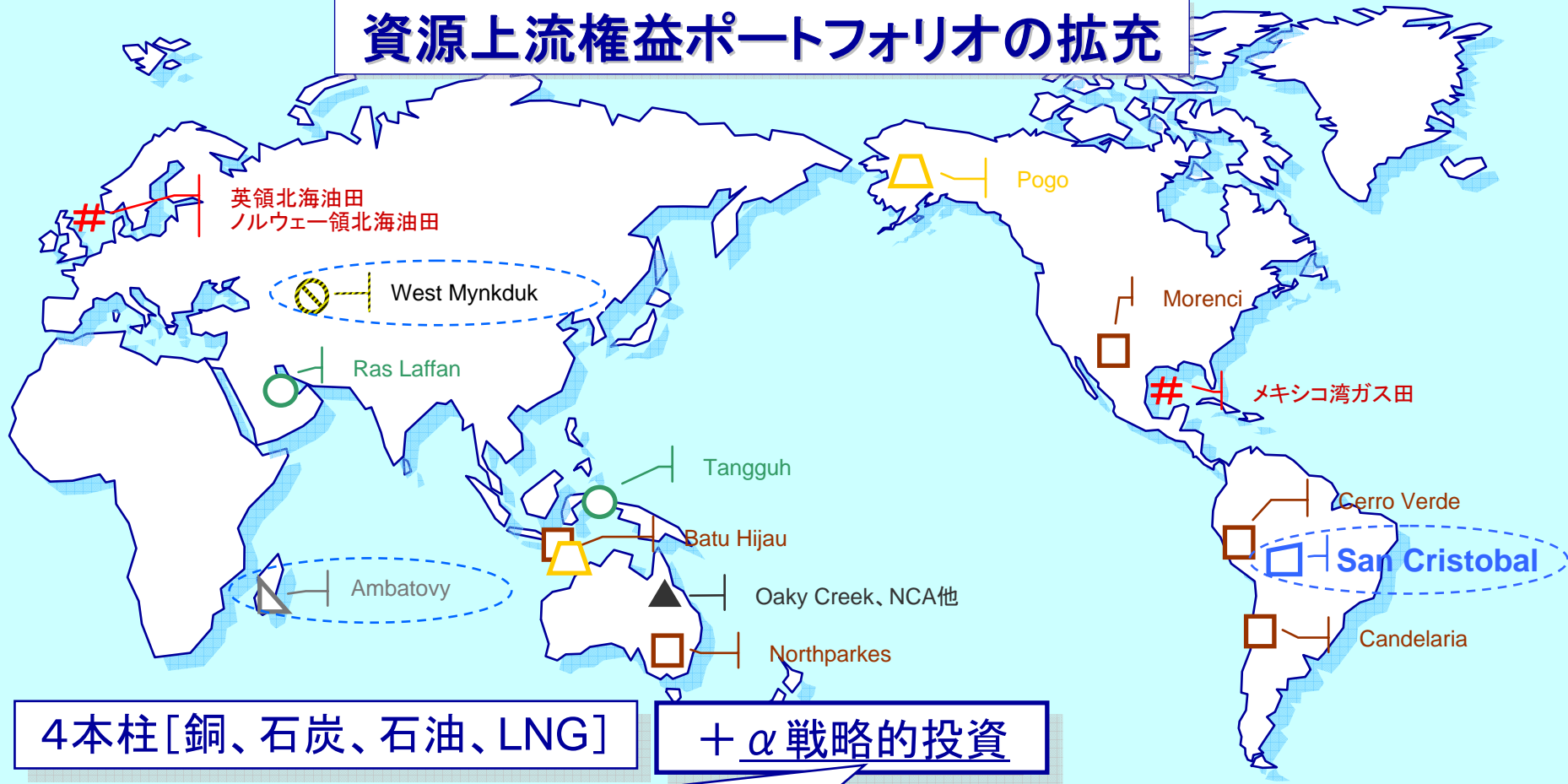
<事業者別CATV加入世帯数>



4.AG Plan

ボリビア San Cristobal銀・亜鉛鉱山権益取得

資源上流権益ポートフォリオの拡充



4本柱[銅、石炭、石油、LNG]

+ α 戦略的投資

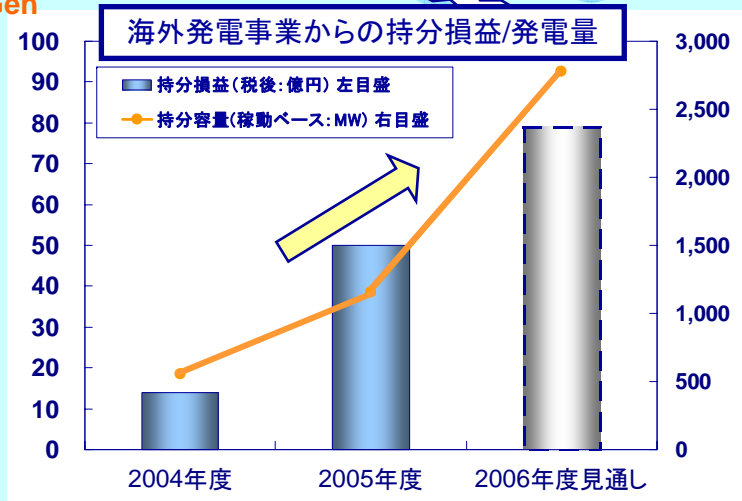
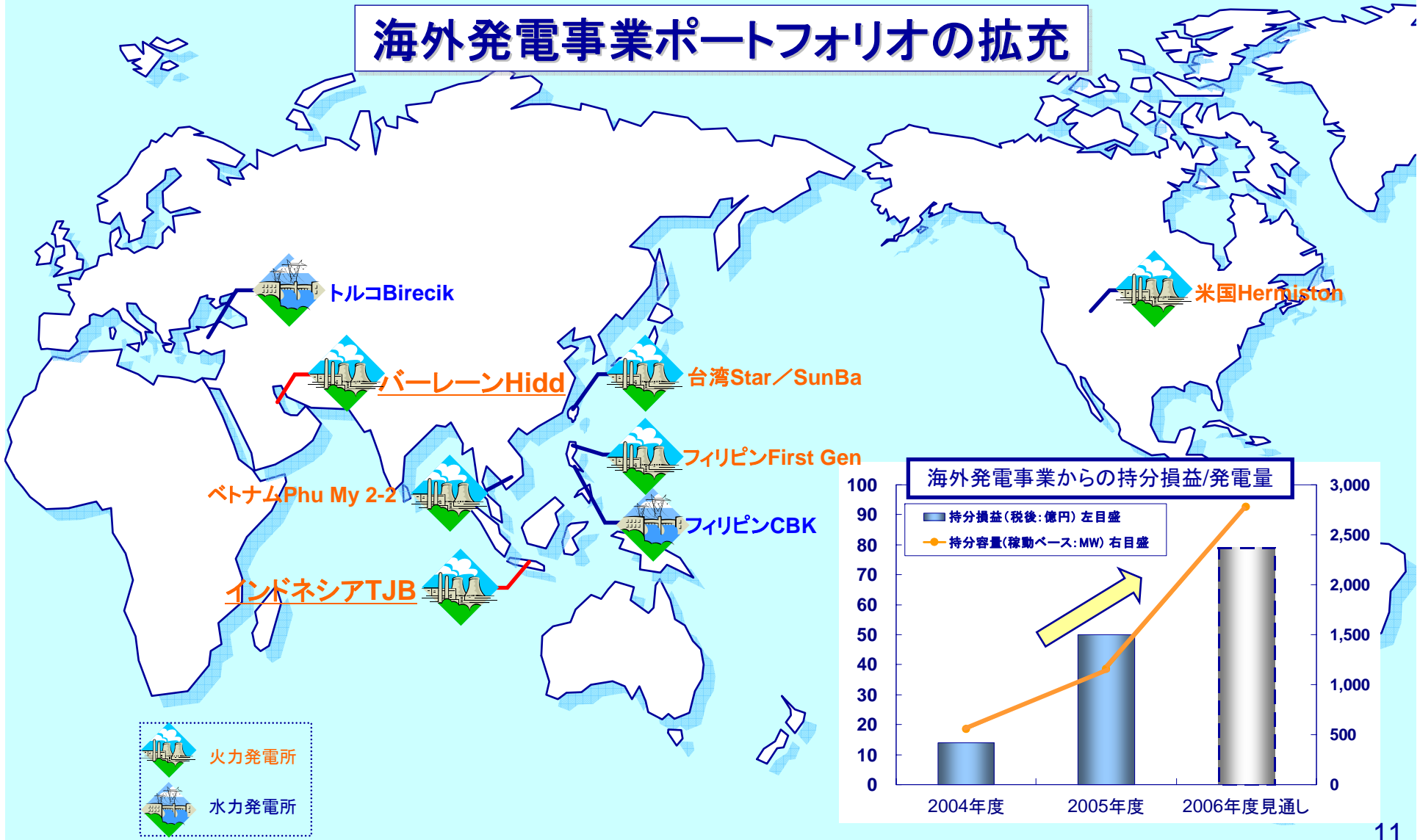
- ・ボリビアSan Cristobal銀・亜鉛鉱山
 - 銀 生産規模世界第3位
 - 亜鉛 " 世界第6位
- ・カザフスタンWest Mynkdukウラン鉱山
- ・マダガスカルAmbatovyニッケル鉱山 [FS中]

銅	金
石炭	銀・亜鉛
原油・ガス	ニッケル
LNG	ウラン

4.AG Plan

海外発電事業(バーレーンHidd買収、インドネシアTJB操業開始)

海外発電事業ポートフォリオの拡充

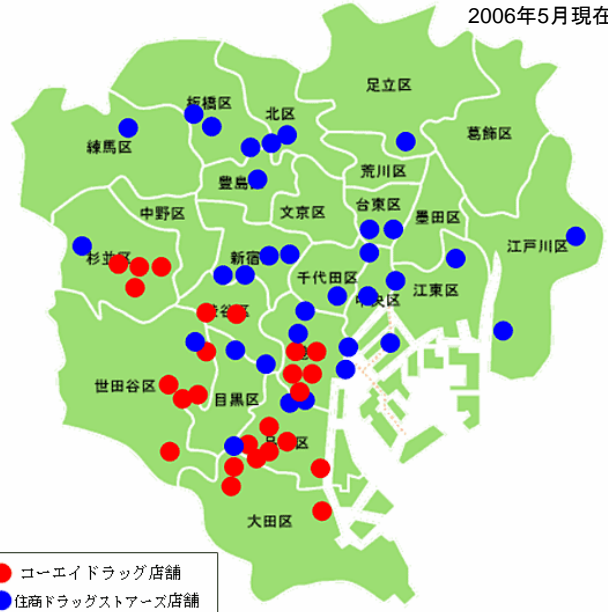


4.AG Plan

ライフスタイル・リテイル事業(コーエイドラッグ、バーニーズジャパン買収)

ドラッグストア事業：既存コア事業の拡大

(ご参考：住友商事グループにおける東京23区のドラッグストア店舗分布) 2006年5月現在



住商ドラッグストアーズ74店 + コーエイドラッグ25店(06/9末)

ブランド事業：事業ポートフォリオ構築

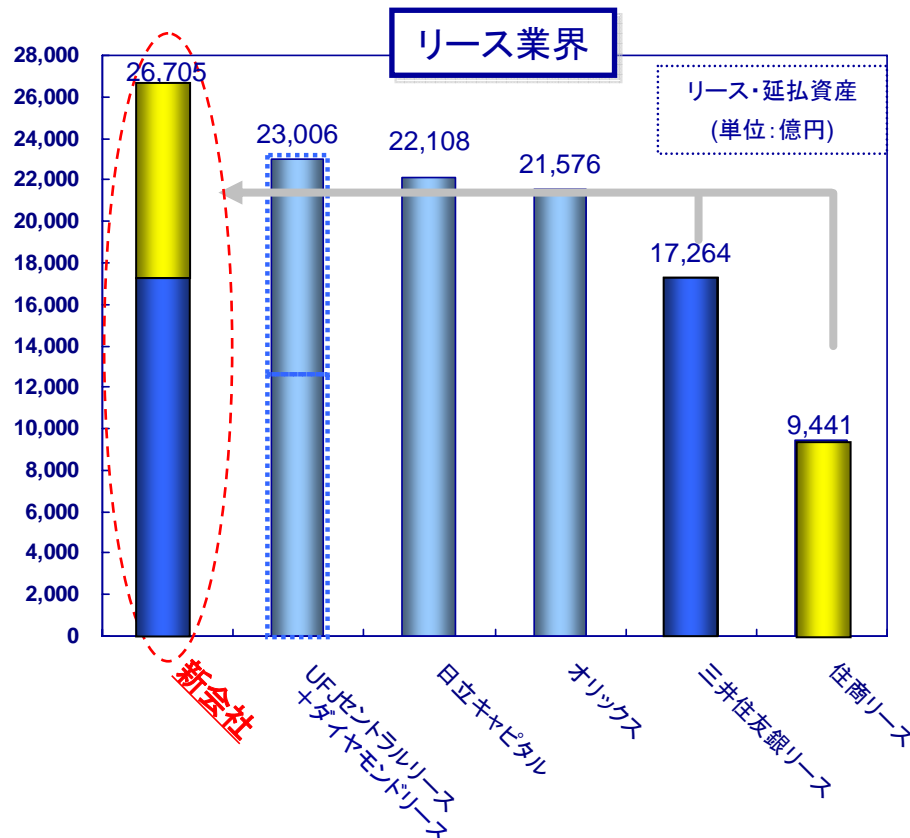


4.AG Plan

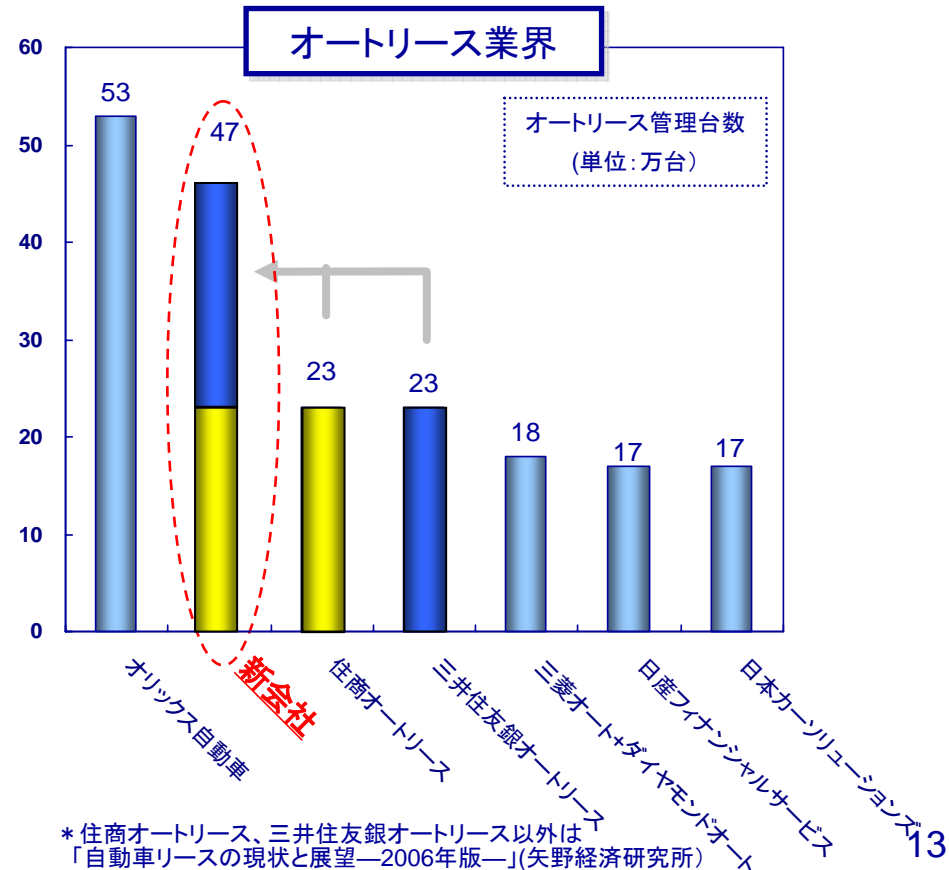
リース・オートリース事業の戦略的共同事業化

国内No. 1戦略

住友商事グループ、三井住友銀グループの顧客基盤、ノウハウの結集・融合により、本邦No.1のリース／オートリース事業の確立を目指す。



* リース・延払資産は公表数値をベースに当社で推計



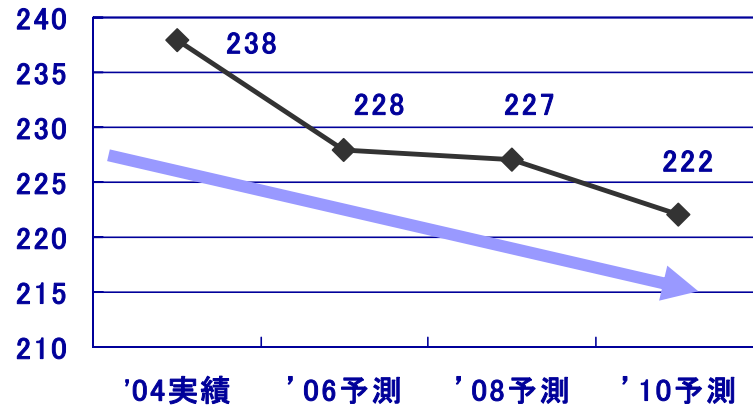
* 住商オートリース、三井住友銀オートリース以外は「自動車リースの現状と展望—2006年版—」(矢野経済研究所)

4.AG Plan

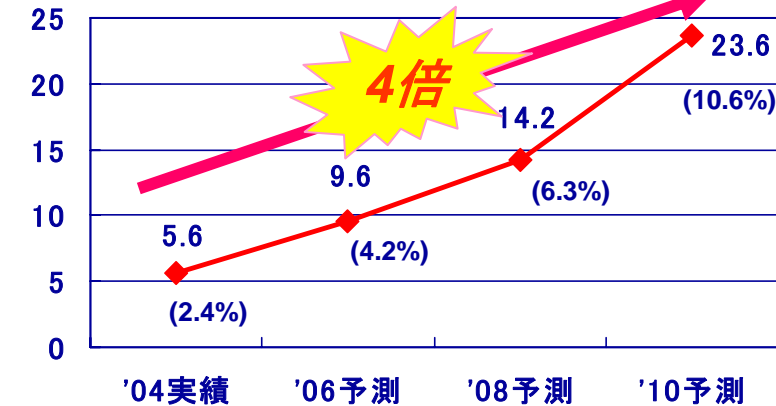
ウェブリテイルビジネスの推進①

<市場規模の推移>

(兆円) 【消費市場全体】



(兆円) 【Eコマース市場】



消費マーケットの変化

- 消費市場全体では伸び悩み
- Eコマース市場は急成長
- インターネット利用環境の成熟化



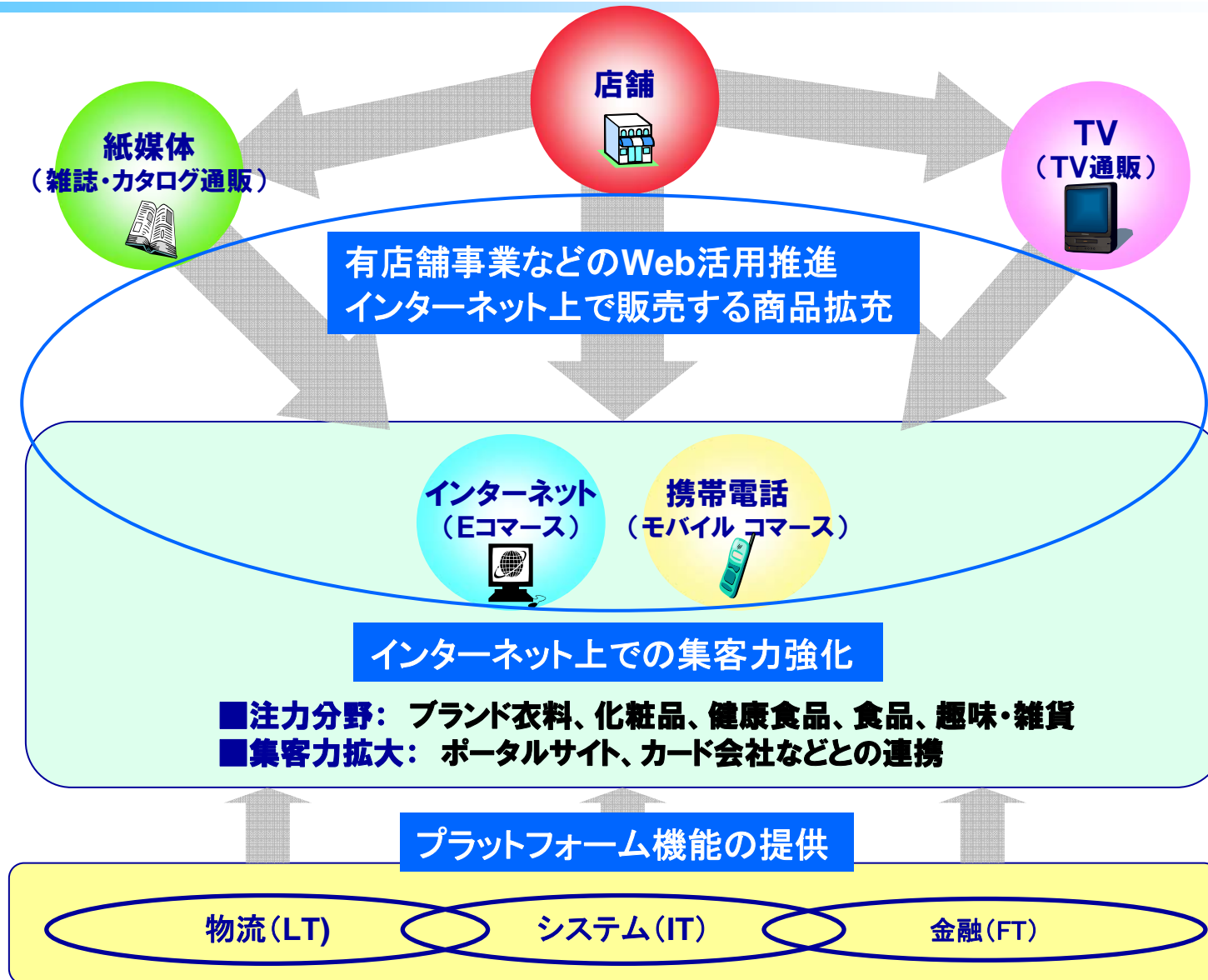
ウェブを活用した リテイル事業の拡大

注1) (%)は消費市場全体に占めるEコマース比率

注2) 予測数値は当社予測

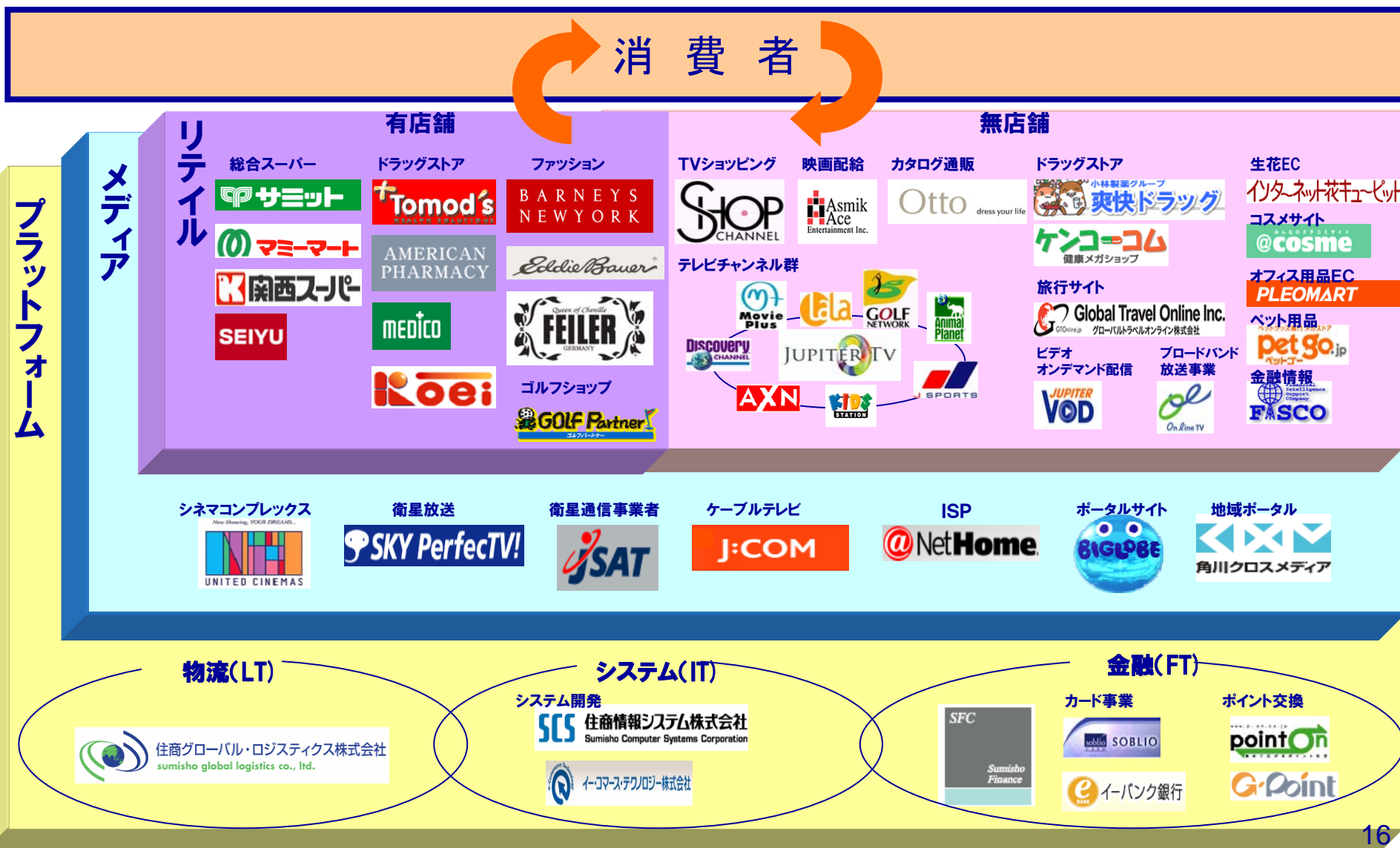
4.AG Plan

ウェブリテイルビジネスの推進②



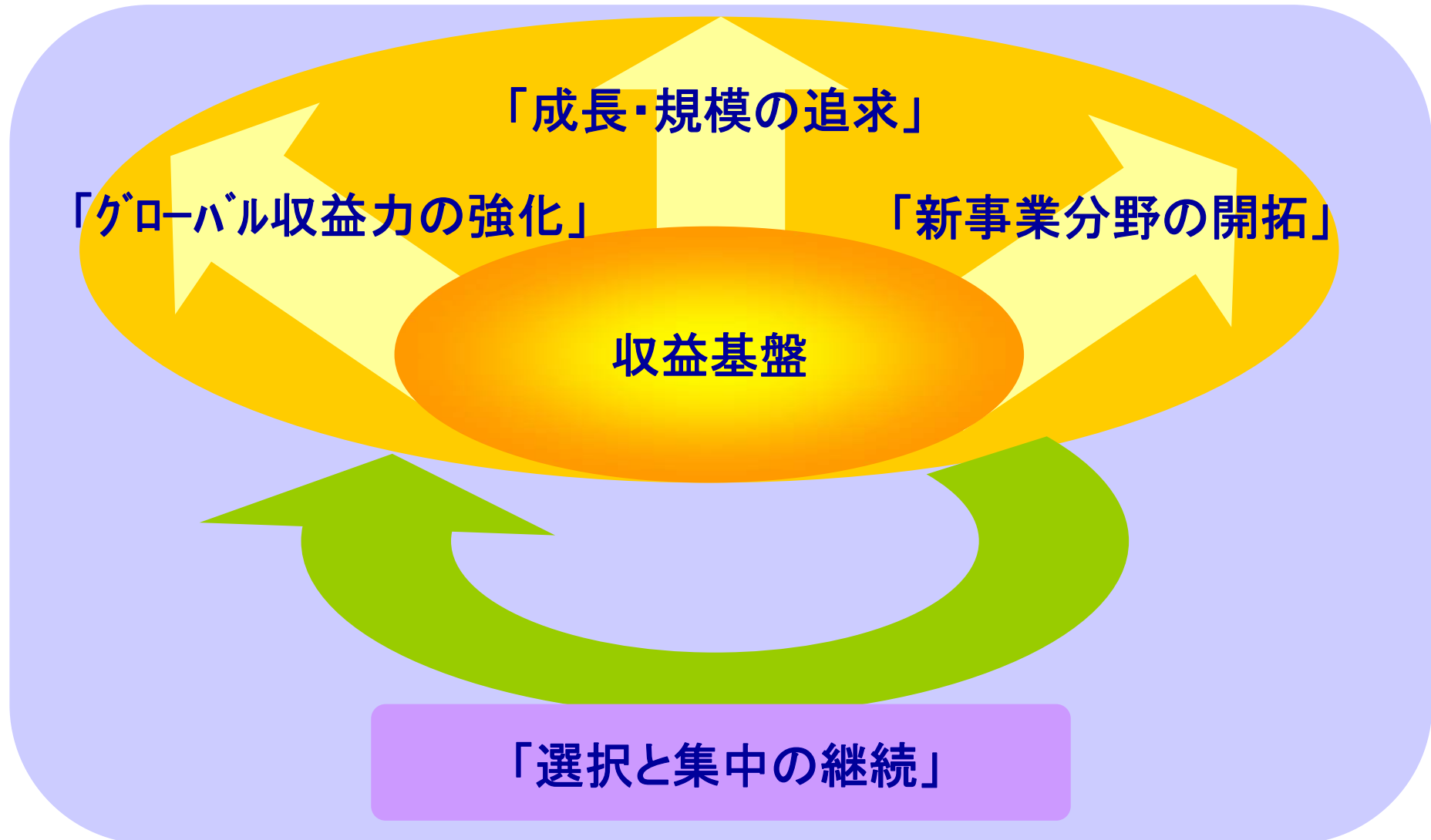
4.AG Plan

ウェブリテイルビジネスの推進③



4.AG Plan

収益基盤拡大の進捗状況



4.AG Plan

選択と集中の継続

経営資源入替 推進タスクフォース

事業会社見直しの進捗状況

撤退・統合対象約200社

⇒06/9末迄に115社削減(内訳:06/3末迄89社、06/9末迄26社)

07/3末迄に追加で約50社削減予定

事業の入替

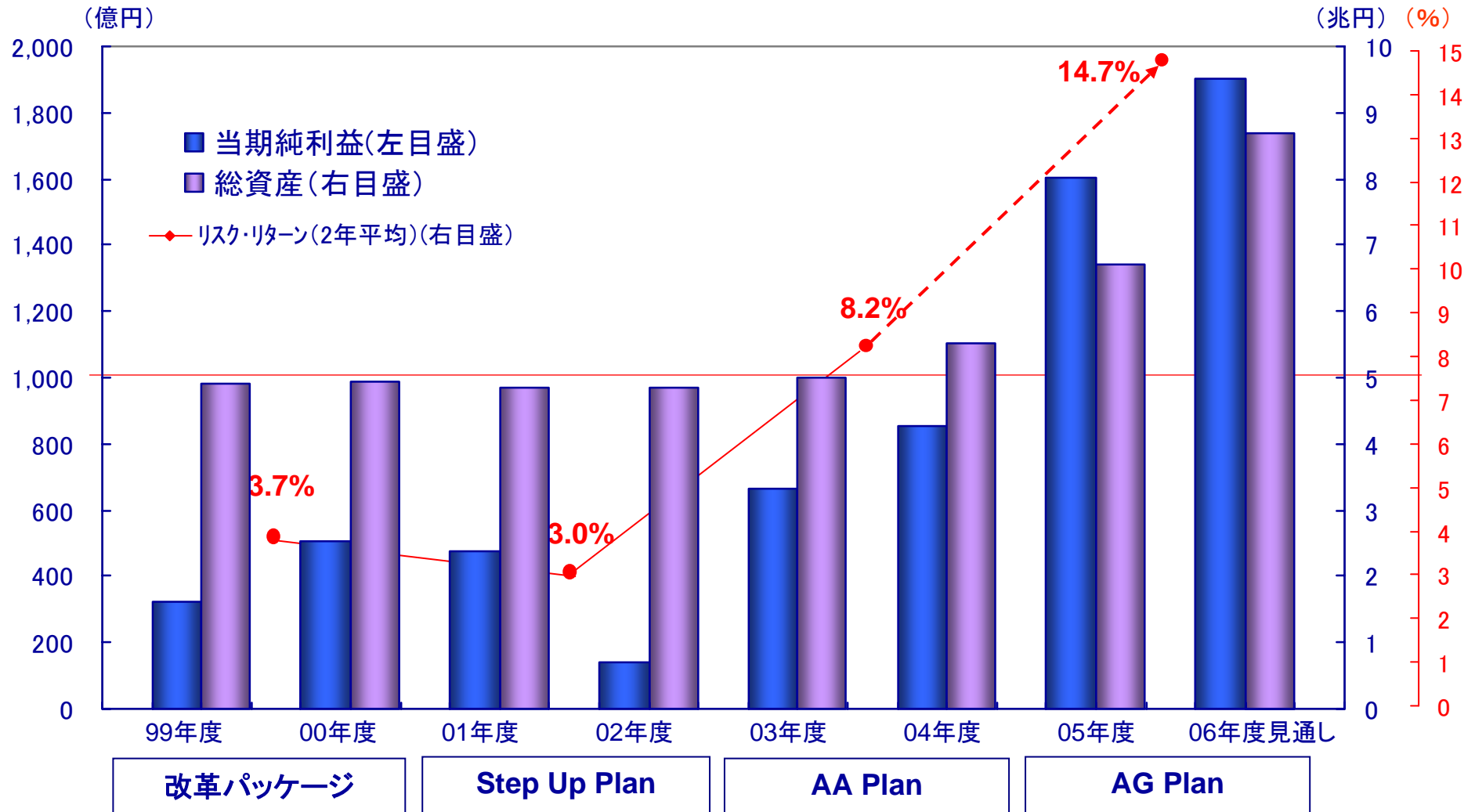
- ✓海外自動車ディーラー事業入替
- ✓海外スチールサービスセンター事業入替

事業の統合

- ✓住商フーズ設立(食品関連会社統合)
- ✓住商グローバル・ロジスティクス設立(物流関連会社統合)
- ✓TBC、Treadways北米タイヤ事業統合

4.AG Plan

持続的な成長を目指して



4.AG Plan Post AG Planに向けて

